

いわくに 市議会だより

第35号

2015年(平成27年)8月15日
発行 岩国市議会

〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14番51号
TEL (0827) 29-5190
FAX (0827) 21-1001
URL <http://www.iwakunishigikai.jp>

編集:いわくに市議会だより編集委員会
印刷:フジ美術印刷株式会社

わがまち
歴史めぐり

岩国市内各地の
歴史・文化を
シリーズで紹介します。



▲岩隈八幡宮(玖珂町)

岩隈八幡宮は、三毛入野命、神武天皇をはじめ9座を祀る。和銅7年(714)、九州の宇佐神社より勧請して、周東町祖生の岩隈山に鎮座し、熊毛神社と称していた。元禄4年(1691)領主吉川広紀公が現在地に移す。宝物の中の一つには、中国浙江省の住人であった独立性易書の「八幡宮」と書かれた扁額があり、これは日中交流の歴史資料として山口県指定有形文化財となっている。

▶「百万一心」の石碑(本郷町)

本郷町には、江戸時代から明治初期までの260年、毛利の代官所があった。吉田松陰の兄・杉民治は、最後の代官として赴任し、山代地方の政治・経済に多大な功績を残した。

以下、「山口の伝説」(出版:(株)日本標準、編集:山口県小学校教育研究会国語部)より「百万一心」のいわれを要約すると。いまから450年ほど前、毛利元就が城を建てました時、「百万一心」という字を石にほり、人柱にかえた。「百万一心」とは、「みんなが力を一つにし、一つの心になってやれば、どんなむずかしいことでもできないことはない。」という意味であったといわれている。



主な内容

6月定例会のあらまし 2
一般質問 3~7

常任委員会審査報告 8~9
意見書 10



6月定例会

6月定例会のあらまし

6月定例会が、6月4日から30日まで、27日間の会期で開催されました。

今回は、監査報告6件、報告6件、議案20件、請願2件、議員提出議案3件の計37件が上程されました。

主なものは、監査報告第7号「平成26年度第4回定期監査結果に関する報告について」、報告第2号、「平成26年度岩国市一般会計予算繰越明許費の繰越しの報告について」、議案第68号から75号の「岩国市教育委員会の委員の任命につき、議会の同意を得るについて」などは、議会初日に可決されました。

その他、条例など委員会に付託された議案は、議案第81号「岩国市ごみ焼却施設建設工事請負契約の締結について」など、慎重審査の結果、原案妥当と認めすべて可決されました。一般質問では、26人が質問に立ち、政

治参加意識の向上（選挙における投票率の向上）や防災対策・市民協働のまちづくり・観光振興・教育問題・基礎政策など、市の考え方を聞きました。

議員提出議案3件のうち、年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書、憲法改正の実現に向けた議論を求める意見書の2議案は、賛成多数で可決され、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を撤回し、関連法律改正等を行わないことを求める意見書については、反対多数で否決されました。

また、市長より今議会中におきました本市の職員の道路交通法違反（酒気帯び運転）の件で、状況報告と市民の皆様へのお詫び、再発防止に向けて全力で取り組む旨の発言がありました。

文化財

文化財の新たな指定について
積極的に掘り起こしを図る

〔問〕広大な面積を有している岩国市には、今まだ未指定の文化財が数多く存在すると思われるが、今後の方針性を問う。

〔答〕文化財保護法の目的にも、文化財の保存と活用が謳われており、教育委員会としても価値あるものを調査等で積極的に掘り起こし、文化財指定を行うことによって、地域活性化の一助となるよう指定を進めていく。

(文化財保護課)

片岡勝則

(新和会)



岩国市立美和病院

地方創生

歴史や地政学の観点で地方創生を
中央省庁の一部移転を検討中

〔問〕維新に大きな功績があり、人材も輩出している岩国は、歴史的使命として国を支える要所である。世界に期待される日本の国家再興の時、地方創生の戦略として政府機関の配置や世界的人材の為の教育等を検討しているか。

〔答〕歴史的役割は積極的に周知していく。陸海空の交通拠点として、広島広域圏の要所として、中央省庁の一部機能移転等を望したい。「新たな広域連携モデル構築事業」を基に連携

(政策企画課)

一般質問

市政を聞く

6月定例会では、
26人の議員が登壇しました。
まちづくり、総合支所など
71項目にわたる質問が
展開されました。

市立病院

市立病院の今後の運営方針は
中山間地域の医療提供体制を堅持

石原真 (清風クラブ)

〔問〕錦中央病院、美和病院は、地域医療の重要な役割を担っている。両病院とも建設より相当年数経過しており、老朽化が著しい。特に、美和病院は、耐震性にも疑問があり、現在の病院二丁目をも満たしていない。早急な建てかえ対策を検討すべきではないか。また、今後の運営方針について問う。

〔答〕美和病院については、「耐震性に疑問あり」との結果が出ている。今後、病院の役割、規模などを検討し、移転・新築を前提とした基本構想の策定に取り組む。また、両病院は中山間地域医療の中核を担つており、今後とも医療提供体制の堅持に努めていきたい。(地域医療課)

グリーンオアシスの今後の活用は
事務組合構成市町と協議し決定する

河合伸治 (公明党議員団)

まちづくり

〔問〕周陽整備センターの余熱利用施設グリーンオアシスは、広く市民の皆様に愛され、存続が強く望まれている。同施設は、玖珂総合公園に隣接する重要な場所にあり、一体的な活用が望まれる。グランデザインを描き、周陽環境整備組合廃止後の活用について検討すべき時期に来ている。今後の活用方針について伺う。

〔答〕グリーンオアシスについては、スポーツ施設整備基本構想の中で、人気も高く当面は活用するものとしている。周陽環境整備センター廃止後の方向性については、構成する周南市・和木町と連携し検討していく。(環境事業課・スポーツ振興課)

交通事業

まちづくり

**岩国市のまちづくり戦略について
財源確保を念頭に積極的に取り組みます**

阿 部 秀 樹 (靈政会)

問 この度の地方創生総合戦略策定を機に、立後れている岩国市のまちづくりを推進すべきと著える。まず、岩国駅周辺の都市機能充実と中心市街地形成、主要道路網の整備並びに交通機関の連携、勤労者(中低所得層)対象の住宅施策、スポーツ振興を目的とした施設整備等々。また、今後まちづくり推進の財源として戦後国防に協力した事を鑑み、岩国市民に目に見える形での支援策を国に打ち出して頂くべきと考え、憲政会では政府首脳に伝えていいる。福田市長の取り組み姿勢をお聞かせ下さい。

答 私も同じ考えの基、積極的に岩国市発展のために取り組む。(商工振興課・都市計画課・地域交通課・建築住宅課・財政課・基地政策課・課税課)

問 グループタクシー利用促進事業は、昨年3月議会で岩国市内の「高台団地や山あいの住宅地等の高齢者の通院や買い物のための交通手段」として実現。しかし、バス停から1キロ以上でないと利用できない制度では「仮作つて魂を入れず」と言われても仕方ない。市内の「高台団地や山あいの住宅地」は無条件に適用させる」とを求める。

答 距離条件を含む制度の見直しは、利用状況の分析等を参考にしながら、隨時検討する。(地域交通課)

総合支所

古文書

**微古館 古文書修復用の和紙が足りず
円滑に作業出来るよう、予算確保に努める**

田 村 順 玄 (リビュアル岩国)

問 岩国微古館は今年、開館70年を迎えた。館には旧岩国藩の貴重な資料が多数保存されている。その総数は約4万2千点にものぼる。こうした資料の劣化が近年進み、修復作業が急がれる。こうした古文書の修復は市民ボランティアで行つて頂いているが、最近その裏打ち用和紙が不足し作業が停滞している。和紙の手当てはどうなっているのか。

答 古文書修復の作業は1冊数年もかかる場合もあるよう根気のいる綿密な作業であり、市民の奉仕に感謝している。

今後も円滑な作業が出来るよう、必要な予算確保に努める。(文化財保護課)

農地維持

事故防止

**倒木事故防止対策について
樹木医や超音波での診断を検討する**

長 俊 明 (清風クラブ)

問 最近は、倒木による人身事故や物損事故が多くなってきている。見た目には元気な樹木に見えても、内部が腐食していたり、腐食が進行して倒木の危険性を正確に判断することは難しい。安全を最大限確保するためにも、樹木の高い樹木や、幹回りの大きな樹木は、外観検査だけでなく、数年に一度は超音波を利用した樹木医の診断は必要と思うが、見解を問う。

答 倒れた場合に重大事故へつながる恐れのある樹木については、樹木医による診断や、超音波を利用した精密診断の導入を検討してまいりたい。(公園みどり課)

問 新たな玖珂・周東総合支所の建設場所について、執行部案と地元の想いの違いが完全に解消されていない中で、基本構想が策定されようとしているが、具体的な構想の内容について伺う。

答 玖珂町と周東町を所管とする総合支所を含む、周東町の現総合支所用地に建設するとともに、玖珂町には支所を整備する中で、玖西地域における総合支所及び支所の今後の果たす役割と必要な機能を整理し、併せて建設規模、施設構成、建設手順を決定し、建設基本構想をして取りまとめ、11月頃地域審議会の意見を伺うこととしている。

答 草刈り作業の負担軽減が、急傾斜地の農地維持に不可欠とは考えている。他地域の事例研究を行うとともに、関係機関との連携を図りながら取り組みたい。市の補助事業を活用した試験的な取り組みの検討を行う。(農林振興課)

ねんりんピック

問 ねんりんピックおいでませ！山口2015に向けた本市の準備状況を伺う。

答 グラウンド・ゴルフ会場である玖珂総合公園に於いては、近々人工芝マットの改修を行い、また、荒れた芝の張替えや雑草の除去等を実施している。その他おもてなし計画として、ふるまい鍋、岩国寿司無料配布、無料ドリンクコーナーの設置、無料シャトルバスの運行、玖珂太鼓に演奏を依頼する等各種アトラクションを用意している。食事については岩国料飲組合様のご協力を頂いて、早朝から美味しいご飯を提供するなど心温まる精一杯のおもてなしをしたいと考えている。

(高齢障害課)

**ねんりんピックに向けた対応について
心温まる精一杯のおもてなしをする**

山本辰哉（清風クラブ）



第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
**ねんりんピック
おいでませ！山口2015**
おいでませ！元気な笑顔 ゆめ舞台
平成27年10月18日(日)～19日(月)

グラウンド・ゴルフ交流大会

場所：玖珂総合公園（グラウンド・ゴルフ場）

ねんりんピックマスコット「ちょるる」

焼却施設

問 ごみ焼却施設建設工事請負契約について
最も有利な契約の締結が図れる

答 ごみ焼却施設建設工事請負契約は総合評価一般競争入札を採用。入札の結果JFEエンジニアリング（株）中国支店が落札した。しかし、技術評価点はわずか3・36差で3億円も高い工事契約となつた。技術審査委員は学識経験者3名、市職員4名で審査した。委員個別評価結果集計表では、19項目のうち12項目に4人の委員が同じ点数をついている。この4人の委員は市職員と推測でき公表すれば今後の他の委員会等の審査にも影響があるので公表できない。

(焼却施設建設事務所)

**ごみ焼却施設建設工事請負契約について
最も有利な契約の締結が図れる**

大西明子（日本共産党市議団）

消費相談

問 消費者被害の防止には、広く市民が消費契約やトラブルの対処方法に関する理解を深めることが重要だ。市民への啓発や注意喚起などについての取り組みを問う。

答 毎年5月末に、岩国市消費者大会を開催。住民組織や教育機関等では、講師を派遣し消費者被害防止の注意喚起と普及啓発講座を開催している。イベント会場など様々な機会を通じてチラシ、ステッカー等を配布するなど消費者被害の未然防止に努めている。今後も関係団体や住民組織等と幅広く連携し、より一層効果的、重点的な市民啓発に取り組んでいく。

(市民協働推進課)

**消費者被害防止への市民啓発は
関係組織と連携し効果的に取り組む**

**岩国市ごみ焼却施設建設について
最も有利な契約が図れる**

中村豊（公明党議員団）

**岩国市ごみ焼却施設建設について
最も有利な契約が図れる**

重岡邦昭（市民くらぶ草の根）

猿被害

問 猿被害は、大型捕獲柵の昨年設置の美和で28頭、今年4月設置の南河内すでに11頭捕獲と大きな成果を上げている。多くの皆さんが猿被害で困っている。私の提言する4～5基事業費600～750万円の設置によりここ2、3年でけりを付ける強い気構えがあるか市の意気込みを問う。

答 こと猿の被害に関しては、なかなか打つ手がなかつたが、大型捕獲柵は短期間で成果が上がり周辺農家の方からも被害が軽減したと聞く。今後被害の多い地区に今年度補正予算で2基、28年度、29年度で2基ずつ計6基設置し、都合8基で猿の被害防止に対処していく。（農林振興課）

**大型捕獲柵増設で猿被害防止求める
6基の追加設置で被害防止に対処**

広中信夫（憲政会）

焼却施設

問 地域環境の保全や、長期にわたり安定稼働が必要と考え、今回の入札は総合評価落札方式で決定、最も有利な契約が図れる。（焼却施設建設事務所）

答 JFEエンジニアリング（株）が焼却施設建設の落札者となつた。なぜ3億円安く建設、管理運営ができるとしたタクマ・タクマテクノスグループが落札者とならなかつたのか問題になつていて、専門的見識を持たない委員が技術評価をおこなつたり、技術審査委員会と入札審査会の委員を重複させ答え合わせのような、また、入札前から業者が決定していたかのような進め方に疑問を感じている。ついては、そのまま契約を締結してよいのか尋ねる。

情報システム

子 育 て

子育て世代包括支援センターの設置を
本年10月に設置する

越 澤 二 代 (公明党議員団)

問 子育てにかかる社会環境が変化しており、子育てに不安や悩みを持つ親が増えている。人口減少社会を迎えており、子育て環境の整備・充実のためフィンランドの「ネウボラ」をモデルとした妊娠に至る前から・妊娠・出産・産後ケア・子育て期間の切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターの早期設置について問い合わせ。

答 子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てをする上で、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対し切れ目のない支援をワンストップで行う拠点の整備が大変重要であると認識しております。10月には設置したいと考えています。(健康推進課)

(情報統計課)

総 合 支 所

中 心 市 街 地

中心市街地活性化について
現状を分析し効率的に事業展開する

松 川 卓 司 (憲政会)

問 昨年度より、中心市街地活性化基本計画の事業がスタートした。

6月より赴任した「タウンマネージャー」の役割と、7月にオープンする「岩国まちなか俱乐部」の位置付けと役割についてお伺いする。

答 タウンマネージャーを中心し、エリア内の調査分析を行い、今後の事業展開を効率的に行なうとともに空き店舗情報を一元化し、エリアマネジメントを行う。「岩国まちなか俱乐部」に関しては、「買う」「集う」「食す」「知る」の機能を有し、中心市街地活性化の事業展開を行ううえでの拠点とした位置付けとする。

(商工振興課)

(総務課)

ま ち づ く り

ま ち づ く り

クラウドファンディングについて
有効性を認識し、前向きに検討する

武 田 伊佐雄 (憲政会)

問 近年、市民活動を支援する一つの方法としてクラウドファンディングというものがある。クラウドは群衆、ファンディングは基金という二つの言葉から成る新しい言葉である。インターネット上で情報発信を行い、賛同していただける案件について出資をしていただぐものである。単に資金調達の手段だけでなく、支援者にとってどのような企画が支援されるのか情報収集としての活用方法もあるが本市での取組状況は?事業を行う上で、クラウドファンディングは有効な手段の一つだと考えている。費用対効果も考えながら前向きに検討する。

答 事業を行なう上で、クラウドファンディングは有効な手段の一つだと考えている。費用対効

(市民協働推進課)

(美和総合支所本郷支所)

ま ち づ く り

ま ち づ く り

クラウドファンディングについて
有効性を認識し、前向きに検討する

武 田 伊佐雄 (憲政会)

問 旧本郷総合支所庁舎の平成29年度以降の利活用については、現時点では未定であるとのことであるが、利活用に向けての今後のスケジュールと住民の方々の意見集約について伺う。

答 昭和17年に建築された築72年の大変珍しい木造建築物であり市民団体が月1回程度利用されている。今後のスケジュールは平成28年度に利活用計画の方針を決定のうえ、基本構想の策定を行い平成29年度に事業着手していく。意見の集約については意見を出し合う場を提供し、ワークショップ等を取り入れ利活用プランを作成する。(美和総合支所本郷支所)

(総務課)

ま ち づ く り

ま ち づ く り

クラウドファンディングについて
有効性を認識し、前向きに検討する

武 田 伊佐雄 (憲政会)

問 旧本郷総合支所庁舎の平成29年度以降の利活用については、現時点では未定であるとのことであるが、利活用に向けての今後のスケジュールと住民の方々の意見集約について伺う。

答 昭和17年に建築された築72年の大変珍しい木造建築物であり市民団体が月1回程度利用されている。今後のスケジュールは平成28年度に利活用計画の方針を決定のうえ、基本構想の策定を行い平成29年度に事業着手していく。意見の集約については意見を出し合う場を提供し、ワークショップ等を取り入れ利活用プランを作成する。(美和総合支所本郷支所)

防 災

外 来 生 物

害をなす外来生物の対策について
被害防止のため鋭意努力していく三 原 善 伸
(親政会)

問 最大クラスの津波が発生した際の避難について、津波からの避難について、自主防災組織等の訓練で住民へ周知

丸 茂 郁 生 (清風クラブ)

答 最大クラスの津波が発生した際の避難について、津波ハザードマップが配布されているが、東地区の避難場所は日本製紙体育館のみとなっており、シンフォニアや東小、東中学校など多くの方々を受け入れることができる場所があるものの避難所に指定されていない。逃げ遅れた方々を受け入れるために、こういった場所を活用できるようにすることは必要ではないか?

答 シンフォニアや東小、東中学校なども避難が可能であり、身近な場所についても普段から考えておく必要がある。自主防災組織等により避難経路の確認の防災訓練を実施して頂くことで住民の方への周知ができると考えている。(危機管理課)

問 近年岩国市内で問題となる外来生物や植物を見かけるようになった。外来生物からの被害を防ぐために市はどう取り組むのか。特に特産のハス田に外来種のカメが繁殖し被害が出始めている。これへの対応についてはどう考えるか。

答 市内でヌートリアの存在を確認している。これの捕獲のため、県と合同で捕獲従事者養成講習会を開催し農作物被害の軽減を図りたい。また、ハス田の外来種のカメについては被害が拡大しないように早急に関係者と連絡をとり、対応を行つてまいりたいと考える。

(環境保全課・農林振興課)

觀 光 振 興

ぐんま花燃ゆと岩国市の観光の取り組みについて
岩国市ゆかりの人物の観光商品を考える

ハス田の畦で甲羅干ししている亀

問 群馬県前橋市では、「ぐんま花燃ゆ」として「文」と夫の群馬県令となつた楫取素彦が観光で大きく取り上げられているが、岩国市における「文」の兄である杉民治の観光における取り扱いをどのように考えているのか。

答 杉民治は山代地域の代官として本郷地区に住み、任にあたった際に、数多くの業績を成し遂げ、玖北地域で大きく貢献している。本郷地区では杉民治の功績を紹介した看板やパンフレットを作成されている。観光としてお土産品の取り組みについては、観光協会や商工会、商工會議所等と協議をし検討する。

(観光振興課)

ま ち づ く り

航空博物館の今後の取り組みは
実現に向けて必要な対応を図る

放課後児童教室

麻里布小の放課後児童教室の改善を
学校プールのトイレを改善し利用する坪 田 恵 子
(日本共産党市議団)

問 4月から、対象児童が6年生まで拡大し、市内の教室では、児童数が増え、学校の空き教室を利用したりと、放課後児童教室の新たな整備が求められている。中でも麻里布では、保護者から「トイレが一つしかない、子ども達が使用に困っている」などの声が寄せられている。近くにプールのトイレがあるが、利用すべきではないか。

答 麻里布放課後児童教室は、平成28年度に建て替えの実施設計業務を、29年度に建設工事を行う予定だ。プールのトイレ使用はとびらの修理をし利用できるようにする。学校や教育委員会等と協力しながら健全育成の推進に努めていく。

(じどり支援課)

問 航空博物館の実現へ向けて、今後の更なる取り組みについてお尋ねする。

答 今後も商工会議所と連携し、航空博物館に関する調査・研究を行つていく。また、商工会議所においては航空博物館に関する特別委員会を7月に設置するので、市としても積極的に委員会に参加し、航空博物館の整備に向けた機運の醸成を図つていく。航空博物館が整備されることには、岩国市の地域振興にも大きな効果があることと想えており、引き続き、整備の実現に向け、必要な対応を図る。(教育政策企画課)

議案第78号 岩国城索道条例の一部を改正する条例

問 今回提案された条例の一部改正の目的と、財政的な影響をどのように見込んでいるか。

答 この条例改正により、指定管理者が管理している施設の使用料を、指定管理者の収入とすることができます。このことは、指定管理者による、収入増へ向けた努力を促すことになり、ひいては施設利用者数の増加につなげたいと考えている。また、この制度を導入することによる財政的な影響については、黒字部分の一部金額を、指定管理者から市に対して納付されることにより、従来どおり黒字決算を維持することができるものと考えている。

問 ロープウエー山麓駅付近にある自動販売機について、台数が多くすぎるのではないかとの声も聞く。台数を少し整理するかわりに、事業のPRやグッズを販売するなど、観光客の誘致につなげるためのスペースとして活用できないのか。

答 自動販売機の台数については、委員御指摘のような御意見もあるやにうかがっている。現在、指定管理者による自主事業が実施されているが、当該スペースを有効活用することで、誘客につながるような積極的な取り組みをお願いしたいと考えている。

結果：全会一致で可決

その他、経済常任委員会に付託された事件は、全て全会一致で可決すべきものと決しました。

経 済

委員長 藤本 泰也
副委員長 桑田 勝弘
委員 阿部 秀樹
片岡 勝則
坪田 恵子
松川 卓司
三原 善伸
山本 辰哉

議案第85号 不動産の取得について

本議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。



テクノポート周東工業団地内
(仮称)岩国市玖珂周東学校給食センター建設事業用地
面積6239.36m²

教育民生

委員長 大西 明子
副委員長 武田伊佐雄
委員 片山 原司
桑原 敏幸
中村 豊
広中 英明
丸茂 郁生
渡辺 和彦

6月定例会 常任委員会審査報告



議案第82号 山陽本線岩国構内三笠橋耐震補強他の工事委託に関する基本協定の一部変更について

- 問 三笠橋は、60年以上経過しているが、一方で、基地内工事のため多くの生コン車が通過しており、耐震補強工事に多額の経費を要する現状を踏まえ、市として何らかの方策が必要ではないか。
- 答 防衛省の補助金を適用することについて検討したが、摘要は難しいと考えており、従前どおり、社会資本整備総合交付金を活用して工事を進めていくと考えている。また生コン車の通過することについては、基地内で調達するのではなく、地元企業の優先発注と言う観点から基地外から持ち込むものである。

議案第83号 愛宕地区排水施設JR横断部河川改修工事の工事委託に関する基本協定の一部変更について

- 問 市内業者が扱っている資材の使用について。
- 答 工事に影響のない部分について地元産資材を使用してもらうようJRに申し入れを行っている。

結果：全会一致で可決



委員長 越澤 二代
副委員長 長 俊明
委員 貴船 齊
田村 順玄
藤重 建治
前野 弘明
松本 久次
山田 泰之

その他、建設常任委員会に付託された事件は、全て全会一致で可決すべきものと決しました。

議案第81号 岩国市ごみ焼却施設建設工事請負契約の締結について

- 問 入札審査会が3月9日に開かれたとの事だが、議会日程との関連はどうのように考えていたのか。
- 答 入札審査会の日程は以前から決まっていたこと。3月定例会では、本件に係る具体的提案をしているものではなかったこと、審査会当日の一般質問による日程への影響はないものと考えられたことから、予定どおり開催した。
- 問 この入札が一般競争入札であった場合、調査基準価格や判断基準額というものがあるが、今回の入札において入札価格が安かった業者の入札結果はいかがであったか。
- 答 入札価格が安かった業者は、技術提案において基礎審査項目を横にしており、入札価格は予定の範囲内であるが、提出された入札書の内、運営管理部門の入札価格については低入札調査基準価格を下回っていた。
- 問 提案内容について、市民にわかりやすい説明はできないか。
- 答 今年度中に実施する実施設計において提案された技術内容を反映するとともに、運営に当たっても提案内容を実現していく中で、市民の皆様に、この選定でよかったですと御理解いただけるように努力したい。

結果：賛成多数で可決



委員長 河合 伸治
副委員長 広中 信夫
委員 石原 真
石本 崇
植野 正則
小川 安士
重岡 邦昭
細見 正行

その他の議案も原案妥当に認め可決すべきものと決しました。
請願2件については引き続き審査すべきものと決しました。

6月定例会 意見書

年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活をしている。特に、高齢化率の高い地域では家計の最終消費支出の約20%を占めるなど、年金は老後の生活保障の柱となっている。

国では、昨年6月に改訂した日本再興戦略において、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)に対して、少子高齢化社会においても年金制度を維持していくために、年金積立金の運用の見直しを求め、GPIFは10月末に株式や債券等の運用資産の構成割合の見直しを行ったところである。

言うまでもなく、年金積立金は、高齢者の生活の安定のために使われる国民の貴重な財産であり、その運用は、厚生年金保険法等の規定により、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うこととされている。

よって、国におかれでは、金融市場の動向に細心の注意を払うとともに、GPIFが行う年金積立金の運用に対し、被保険者の意向を踏まえて、これまで以上に厳格な監視等を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月30日

岩国市議会

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

憲法改正の実現に向けた議論を求める意見書

日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、約70年間、一度の改正も行われていない。しかしながら、この間、我が国をめぐる内外の諸情勢は劇的な変化を遂げ、家庭、教育、環境などの諸問題や大規模災害等の緊急事態への対応が求められている。特に我が国を取り巻く外交安全保障情勢は、憂慮すべき課題が山積している。

このような状況の変化を受け、憲法改正についての国民的議論が巻き起こり、さまざまな憲法改正案が、各政党、各報道機関、民間団体等から提唱されている。

国会においても、平成19年の国民投票法の成立を機に憲法審査会が設置され、憲法改正に向けた制度が整備されるに至った。

また、昨年6月13日には、国民投票の投票年齢の引き下げなどを内容とする改正国民投票法が成立し、これにより、憲法改正の是非を問う国民投票の実施に向けた環境が整った。憲法は国の基本法であって、その内容については、国会はもとより、主権者である国民において幅広く議論されるべきである。

よって、国におかれでは、時代状況の変化に対応し時代にふさわしい憲法の改正について、憲法審査会において憲法改正案を早期に作成し、国民みずからが判断する国民投票の実現に向けた国民への丁寧な説明や幅広い議論を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月30日

岩國市議會

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

お詫び

月1日発行の岩国市議会だより中、
9ページ総務常勤委員長報告
案第65号答の1行目が減給保障となつてお
りましたが、正しくは現給保障となります。
訂正し、お詫び申上げます。



いわくに市議会だより編集委員会

6月度定例会一般質問では26名の議員が登壇し、前回に引き続き今回も活気ある議会となりました。特に地方創生に関連した質問も多く、「まち・ひと・しごと創出総合戦略」に先駆けた立案が期待されるところであります。本市に於いてもこの総合戦略に基づいて発足した地方創生総合戦略調査特別委員会を中心に、32名の議員が市民の皆様の声を十分に踏まえ、最良策の模索決定に徹する決意です。

編集後記